

12:30 ～ 開場・受付

13:00 ～ 13:10 開会挨拶 菅田勝也 (日本看護評価学会 理事長)

13:10 ～ 15:00 シンポジウム1「評価尺度の作成と利用」

司会：橋本廸生 (横浜市立大学附属病院 教授)

緒方泰子 (千葉大学大学院看護学研究科 准教授)

「尺度開発の概要および看護領域での利用における期待や課題
看護師の職務満足質問紙の研究— Stamps らの質問紙の日本での応用—」

尾崎フサ子 (佐久大学看護学部 教授)

「The Practice Environment Scale of the Nursing Work Index (PES-NWI)
日本語版の開発と利用」

緒方泰子 (千葉大学大学院看護学研究科 准教授)

「バーンアウト (燃え尽き症候群) 尺度の開発と利用」

久保真人 (同志社大学政策学部 教授)

「ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度 (Work-Family Conflict Scale:
WFCS) 日本語版の開発と検討」

渡井いずみ (東京大学大学院医学系研究科 特任助教)

15:10 ～ 16:10 一般演題 (口演) 第1群 評価指標 (5題)

座長：森田夏実 (慶應義塾大学看護医療学部 准教授)

1-1 A急性期病院に勤務する看護職の職務満足度および就業継続意思と看護実践環境の
関連

○狩野京子、塩野悦子、伊藤洋子、落合永美、松尾英子 (鳥根県立中央病院)

1-2 転倒リスクと転倒予防対策の効果の検討

○飯島佐知子 (順天堂大学医療看護学部)

豊川智之 (東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室)

森田恵美子 (公立陶生病院)

1-3 ICUにおける看護師配置と有害事象との関連

○澤野真澄 (順天堂大学大学院医療看護学研究科)

飯島佐知子 (順天堂大学大学院医療看護学研究科)

粕谷久美子 (昭和大学病院看護部)

石川恵美子 (昭和大学病院 ICU)

1-4 褥瘡対策の質評価指標の検討 ACOVEQIによるハイリスク加算体制の評価

○永野みどり (東京慈恵会医科大学医学部看護学科)

緒方泰子 (千葉大学大学院看護学研究科)

徳永恵子 (宮城大学看護学部)

- 1 - 5 転倒・転落アセスメントツールの予測妥当性評価—入院後1週間以内の転倒・転落—
○東恩納美樹（琉球大学医学部保健学科）
下地孝子（琉球大学医学部附属病院）

16:10 ~ 17:00 一般演題（口演） 第2群 職員支援・教育（4題）

座長：飯島佐知子（順天堂大学医療看護学部 教授）

- 2 - 1 看護職の職業コミットメントと専門職行動の関連
○市川奈央子、大西麻未（東京大学大学院医学系研究科看護管理学分野）
- 2 - 2 インシデントを経験した看護職が周囲から受けた対応の実態と当事者の認識
○瀬川玲子、大西麻未、武内龍伸、永田文子（東京大学大学院医学系研究科看護管理学分野）
- 2 - 3 エンドキサンパルス療法中の患者への支援・指導の検討
—クリニカルパスの作成を通して—
○山内美千代、佐藤博子（東京大学医学部附属病院）
長井聡子（東京大学大学院医学系研究科看護管理学分野）
- 2 - 4 老年看護学教育に必要な“もの”
—人員・設備・物品の合理的整備の検討—
○松本昌子、中村和代、松尾ミヨ子（聖マリア学院大学）

17:00 ~ 総会・評議員会

9:30 ~ 11:20 シンポジウム2 「今こそ、看護体制の評価を」

司会：武村雪絵（東京大学医科学研究所附属病院 看護部長）

「看護体制の構築における人材育成について」

市川幾恵（昭和大学 統括看護部長）

「信州大学医学部附属病院における総リーダー制の導入経過と現状について」

大曾契子（信州大学医学部附属病院 看護師長）

「パートナーシップ・ナーシングシステムの構築と成果」

橋幸子（福井大学医学部附属病院 副院長・看護部長）

「患者を『把握』するための病棟計画とは？」

笈淳夫（工学院大学建築学部建築デザイン学科 教授）

11:30 ~ 13:00 懇親会（於 医学部教育研究棟13階 Capo PELLICANO）**13:10 ~ 14:00 講演1 「診療報酬が決められる過程」**

講師：小池智子（慶應義塾大学看護医療学部 准教授）

座長：矢野正子（聖マリア学院大学 学長）

14:10 ~ 16:00 講演2 「平成24年度診療報酬改定における看護の評価と看護管理での利用」

講師：齋藤訓子（日本看護協会 常任理事）

座長：井上由紀子（AMG キャリアサポートセンター センター長、
埼玉県看護協会 副会長）

16:00 ~ 16:10 優秀演題表彰・閉会